

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター中央

【計画】

作成担当者： 高野 大輔

開催日時	平成30年05月11日 10:00 ~ 11:30	開催場所	鴨池公民館
参加者	ケアマネジャー：32人、地域包括支援センター職員：6人、その他		
	総数 38人		
内容	テーマ	平成30年度介護保険法改正を受けて、主任介護支援専門員としての取組みを考える。	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度介護保険制度改正を受けて、事業所間で情報共有を行うことで、運営がスムーズにできる。 主任介護支援専門員として、自事業所の介護支援専門員・地域の介護支援専門員を支える仕組みができる。 	
	概要	<p>①平成30年度介護保険制度改正について情報共有 ②事例検討会への取組みについて 主任介護支援専門員として、自事業所や地域において、上記の2点をどのような取組んでいくか意見交換を行う。</p>	

【結果】

開催日時	平成30年05月11日 10:00 ~ 11:30	開催場所	鴨池公民館
参加者	ケアマネジャー：31人、地域包括支援センター職員：6人		
	総数 37人		
内容	<p>①制度改正後の対応（複数事業所の提示や選定理由の説明等）に関する意見交換 ・平成30年度介護保険法改正に伴うケアマネジメントを取り巻く状況の変化やその対応状況、今後明らかにしていく必要のある課題について有意義な意見交換をする事が出来た。 ・改正内容にはケアマネジメントに必須とされる事項から、加算・減算に関係するものまで多くの要素があるが、重要事項説明書（運営規定）の改定を要するのか等、具体的な要件について不明な点も多く意見が聞かれた。また現段階での各事業所での取組みには多種多様であった。</p> <p>②事例検討会への取組み（主任介護支援専門員の立場）に関する意見交換 ・主任介護支援専門員としての「地域の人材育成」という命題としての取組みと、特定加算を算定する条件としての取組みとでは大きく意義が異なることが感じられた。事業計画の作成においても、地域の事業所間での連携に着目した取組みについて思案中の事業所も多く、居宅介護支援事業所間でのつながりを求める声もあることが分かった。 また、事例検討会において、スーパーバイザーとしての能力向上などに課題を感じている面もある。 ・事業所間でも、事業所内（管理者とそれ以外）としても考え方や取組みには差異がある。取組みや課題を継続して共有していく必要性が感じられた。 ・中央及び鴨池北圏域の主任介護支援専門員同士のネットワーク構築に一定の成果があった。</p>		
今後の課題など	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討会の開催や、法人・事業所間の橋渡しを地域包括支援センターに期待する声も聞かれた。他の圏域との連携調整を意識しつつ、中央事業所の取組みを検討する必要がある。また、事例検討会におけるスーパーバイザーとしての能力向上を図っていく必要がある。 資質向上や「地域のケアマネ事業所」の支援に対するモチベーションを高められるように、業界全体としての機運の醸成を図っていく取組みも求められるものと思われる。 		